

vol.1

2008. 1. 10

MONTHLY REPORT

マンスリーレポート





趣旨・組織

がんは、わが国の死亡率第1位の疾患ですが、がんを横断的・集学的に診療できる専門家が全国的に少なく、その養成が急務とされています。また、近年の高度化したがん医療の推進は、がん医療に習熟した医師、薬剤師、看護師、その他の医療技術者等(コメディカル)の各種専門家が参画し、チームとして機能することが何より重要です。そのため、がん医療の担い手となる高度な知識・技術を持つがん専門医師及びがん医療に携わるコメディカルなど、がんに特化した医療人の養成を行うため、大学病院等との有機的かつ円滑な連携のもとに行われる大学院のプログラムが「中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム」です。



コンソーシアム代表 **田中 紀章**

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

消化器・腫瘍外科学 教授

中国・四国広域がんプロ養成プログラムは患者中心のチーム医療の実現を目指し、地域の8つの大学が一つのコンソーシアムを作り、各大学院にメディカル、コメディカルを含む多職種のがん専門職養成のためのコースワークを整備したものです。

これに地域の25のがん診療連携拠点病院が連携し、eラーニングのシステムで結ぶことにより、広い地域のどこにいても高いレベルの教育を受けることが出来ます。

がんに関わる多職種専門職が有機的に連携し、チームとしてがん診療ならびに研究にあたる事ができるよう職種間の共通コアカリキュラムの履修を出発点として教育研修を行います。

内外のがんセンター等と連携することにより指導者の教育水準の向上に努め、教育するものも、これを受けるものも互いに切磋琢磨することにより、臨床実技、チーム医療、臨床研究の各能力をともに身につけたがん専門職が生まれます。

視野が広く、他者を理解することに長け、医療チームをマネージすることの出来る新しいタイプのがんプロフェッショナルに向けてあなたも飛躍してください。



カリキュラム企画運営委員会委員長 **曾根 三郎**
徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部
分子制御内科学分野、腫瘍内科学分野 教授



指導者育成(FD)委員会委員長 **谷本 光音**
岡山大学大学院
血液・腫瘍・呼吸器内科 教授

チーム医療が出来るがんプロフェッショナルの養成カリキュラム

本委員会のミッションは、参加する8大学の大学院各専攻内に「臨床腫瘍学教育課程」を設け、①インテンシブコース：がん診療に従事している専門医、指導的ながん専門コメディカルを養成するプログラムと、②がん専門医療人養成コース：8大学で共通のカリキュラム(共通コア科目、共通科目、専門科目)シラバスを作成し、5年の計画にてモデルコアカリキュラムを作成することにある。共通教育の実施には8大学間で受講できるeラーニングシステムを導入し、最先端の臨床腫瘍学講義の提供、セミナー・研修会の開催により質の高いがんプロフェッショナルを養成する。その結果、中国・四国のがん拠点病院でがん診療のチーム医療が実践され、最新のがん診療によりがん克服につながることを目指している。最初の3年間は指導者養成期間として、国立がんセンター、癌研有明病院、四国がんセンターでの研修、海外のがん病院の視察・調査活動を行い、平成20年度から大学院生の受け入れを本格的にスタートさせ、完成度の高いカリキュラム策定と人材養成を目指している。

「中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム」のFD委員長を務めさせていただくことになりました。私はこれまで、医学教育においては多少なりとFDと取り組んでまいりましたが、「がん医療」に関わる、しかも多職種間の専門者を対象としたFDは全く経験のない分野ですので、今後何かにつけて皆様のご協力とお知恵をお借りしたいと思っておりますがどうかよろしくお願いいたします。

当面(今年度と次年度)のFD委員会での取り組みについては、全体のコンソーシアムでご議論いただいたとおり、コンソーシアム内のFDを支える方々の海外研修を含めた派遣によるスキルアップに重点を置きたいと考えております。既に、今年度は数施設での見学を兼ねた1週間程度のFDへの参加が決定していますが、こうした経験を重ねることにより、コンソーシアム内のFD開催まで繋げていきたいと思っておりますので、FDへご参加の皆様にはご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げ、ご挨拶に代えさせていただきます。



PHOT:スタンフォード大学(FD研修施設)

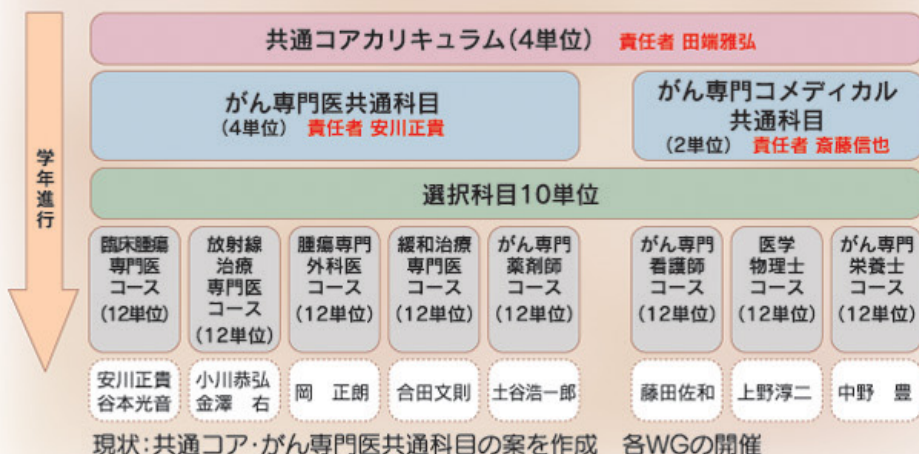


皆様の熱意で重要事項が、数多く決定しました！

12月7日カリキュラム企画・運営委員会が 岡山大学で開催され、下記のように いくつかの決定がなされました。

がんプロ大学院コース概要(30単位以上)

それぞれの取りまとめ責任者が決定し、活発に活動しています！



現状: 共通コア・がん専門医共通科目の案を作成 各WGの開催

1) eラーニングについて

eラーニングにおける受講確認は当面、各大学の判断に任せ、3月にeラーニングによる講義方法の講習会を行う。

2) 海外派遣FDの進捗について

コンソーシアム事務局 チーフマネージャー(松岡)よりエドモントン、タンパの派遣が決まりつつあること、交渉中の他施設の説明があった。派遣は指導者としての教育を受けるべき准教授、講師、助教などが望ましいとする意見があった。派遣は各大学の予算内で行うことを確認した。

3) 各WG からの意見

資料に基づき各WGからの意見が出された。

これをまとめると上の図になる。

4) 単位互換について

本日のカリキュラム企画運営会議で大学間協定、内規を承認した。

事務局は協議会へメールで討議を依頼、承認されたら各大学での承認を行う(1月)。

H20年3月に協定の締結を行う。

5) 事業計画、予算継続申請について

12月末までにH20年度事業計画、予算申請作成を依頼する。

H20年1月上旬、各大学の事業計画を取りまとめる。



H20年度カリキュラム作成の基本方針

各大学の現状もあり、3年間かけて共通のものを作っていく。5年後にはコンソーシアム独自のシラバスができることが目標。

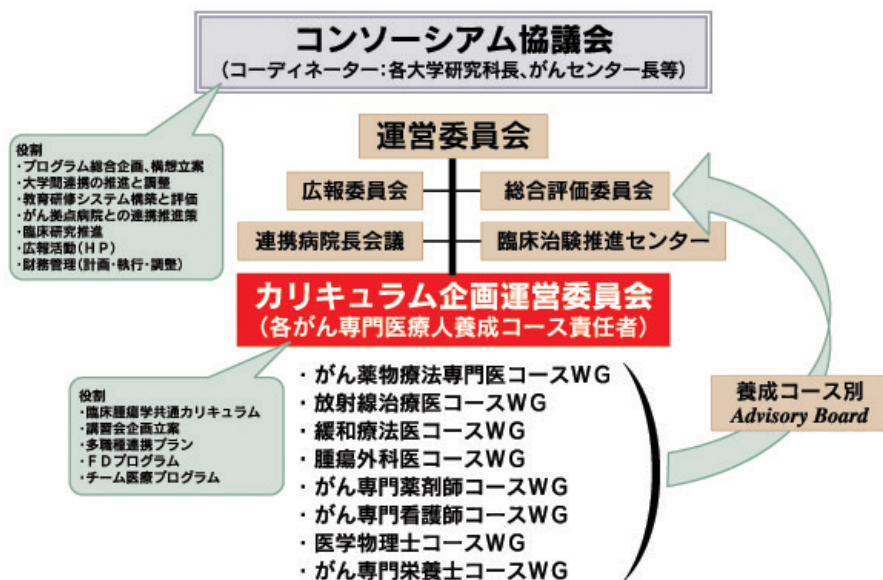
20年度は共通コア共通科目を増やし選択性を増すようにする(臨床腫瘍専門医コース 田端担当)。

各大学講義名と講義担当を入れた一覧を作る(臨床

腫瘍専門医コース 田端担当)。

できる講義は自前で、できないものはeラーニングとする。

eラーニングですべての講義を配信、コンテンツ化する。放射線の部分は講義担当を放射線WGで割り当てる。受講者の負担を軽減する。12月中にシラバスを完成させる。



中国・四国広域がんプロ養成プログラム／平成20年度

締め切り
近づいて
います！

大学名	コース名1	コース名2	出願期間
愛媛大学	専門医師養成コース	腫瘍内科系専門医養成コース	19.12.12(水)～20.1.8(火)
		腫瘍外科系専門医養成コース	
岡山大学	専門医師養成コース	腫瘍内科系専門医養成コース	20.1.11(金)～20.1.18(金)
		放射線治療専門医養成コース	
		腫瘍外科系専門医養成コース	
	コメディカル養成コース	がん専門薬剤師養成コース	20.1.31(木)～20.2.1(金)
		CNS(がん看護専門看護師)コース 医学物理士・放射線治療品質管理士養成コース	平成20年度医学生募集は終了しました。
香川大学	専門医師養成コース	腫瘍内科系専門医養成コース	20.1.4(金)～20.1.10(木)
		緩和医療専門医養成コース	
		腫瘍外科系専門医養成コース	
川崎医科大学	専門医師養成コース	腫瘍内科系専門医養成コース 腫瘍外科系専門医養成コース	平成20年度医学生募集は終了しました。
高知大学	専門医師養成コース	腫瘍内科系専門医養成コース	20.1.7(月)～20.1.10(木)
		放射線治療専門医養成コース	
		腫瘍外科系専門医養成コース	
	コメディカル養成コース	がん専門薬剤師養成コース 医学物理士養成コース	20.1.7(月)～20.1.10(木)
高知女子大学	コメディカル養成コース	CNS(がん看護専門看護師)コース	平成20年度医学生募集は終了しました。
徳島大学	専門医師養成コース	がん薬物療法専門医コース	20.1.4(金)～20.1.11(金)
		放射線治療専門医コース	
		緩和療法医コース	
		腫瘍外科系専門医コース	
	コメディカル養成コース	がん専門薬剤師コース	20.1.7(月)～20.1.11(金)
		がん専門栄養士コース	平成20年度医学生募集は終了しました。
		がん専門看護師コース	平成20年度医学生募集は終了しました。
		医学物理士コース	
山口大学	専門医師養成コース	腫瘍内科系専門医養成コース	20.1.7(月)～20.1.11(金)
		放射線治療専門医養成コース	
		腫瘍外科系専門医養成コース	

※平成20年度冬季の学生募集は上記のとおりですが、追加募集を実施する場合がありますので各大学までお問い合わせください。

Course	specialities	term	total
All			43
Johns Hopkins Singapore		2&3/2008	12
Edmonton	palliative care	1/21-27/2008	10
MSKCC		3/2008	3
Dana-Farber		3/2008	3
Michigan		3/2008	3
Stanford		2/2008	3
Fox Chase		3/2008	3
Moffit		3/2008	3
Bristol	palliative care	3/2008	3

43名の
研修を確保
すべく交渉中
です！



研修企画策定から契約に進行中！

コンソーシアム事務局では、海外研修先としてダナファーバー、フォックスチェイス、モフィット、エドモントン、ジョンズホプキンス、ミシガン、コロンビア、スタンフォード大学、病院と交渉中であります。契約作業に入った施設から広報してゆきます。最終決定は派遣施設・時期が決定してから随時FD委員会で行いますが、派遣時期は1, 2, 3月ですので、ご準備ください。国内研修も交渉開始をしています。



スタンフォード大学(がんセンターボード・ルーム)



スタンフォード大学(外来化学療法センターのショップ)

大学院医歯薬学総合研究科

研究科長 田中 紀章

スペシャリストからプロフェッショナルへ

医療職は本来自由度の高い職業である。病院という組織に所属していても医業の営利性に捉われない、患者の立場に立ってその判断を曇らせないための自由さを私たちは持っている。このことによって病者に尽くすという使命を果たすことができるのであり、この意味で医療職はプロフェッショナルである。

医学が近代科学となりメディカル、コメディカルに分かれ、さらに医師も多くの専門に分かれたが、こちらはスペシャリストと呼ぶべきであろう。プロフェッショナルは患者、あるいは依頼者に全人的に関わるのであるが、複雑に高度化した現代医療にあってはプロフェッショナルになるためにはスペシャリストとしての要件をも兼備えねばならない。学会専門資格制度はこのスペシャリスト養成を目指したものであり、現代のプロフェッショナルになるための一つのステップと考えられる。

大学院はこのスペシャリストをさらにプロフェッショナルにするための教育を行うところである。大学院における諸々の研究はそれ自体の目的とともに、研究するものをしてその精神性を高らしめる

という働きを有する。マニュアルには書かれていない問題に取り組み、エビデンスを捜し求められない場合でも、なお患者の傍にいて援助できるのは、幾多の観察、実験を経て客観性、合理性の限界を知った者のみの、すなわち祈ることの真の意味を知った者の働きである。このようにして私たちの大学院は研究を通して優れた感性の臨床家を育て、この中国・四国の地域に送り出してきた。

しかし、医療に対するニーズが大きく変わり、これに対応するため大学院教育の改革が始まっている。私たちは患者中心のマインドを持った新しいプロフェッショナル養成のための取り組みをスタートさせている。日本医療の焦眉の課題、4疾患、5事業に呼応して私たちが用意する「がんプロフェッショナル養成コース」、「臨床専門医コース」、「国際臨床研究コース」などのコースワークは、視野が広く、他者を理解することに長け、それゆえに医療チームをマネージすることのできる新しいタイプのプロフェッショナルの養成を目指す。この教育改革は教職と学生が一体となった運動である。

そして、こういった人材養成の目的を実現するため、以下の5項目の教育目標を掲げている。

1. 社会的ニーズを把握し、地域から国際社会まで貢献する医療・研究・教育分野を構築します。
2. 医・歯・薬学の専門知識を結集した学際的研究・教育を推進します。
3. 世界をリードする先端的・独創的研究を推進し、研究成果を発信します。
4. 高度で幅広い知識を教授し、科学の進歩に適応しうる問題解決力を涵養します。
5. 社会人に再教育の場を提供して、生涯教育を推進します



病院長 森田 潔

岡山大学病院

岡山大学医学部・歯学部附属病院は、明治3年岡山藩医学館として開設され、以来、約140年にわたり地域社会に優れた医療人を輩出し、社会に貢献できる臨床研究を進めて参りました。現在、本院には41の診療科(医科29、歯科12)と32の中央診療施設等が設置され、「高度な医療をやさしく提供し、優れた医療人を育てる」を基本理念として診療と教育を行っております。また、高度先進医療の研究・開発が大学病院の使命のひとつであると考え、がん医療のほか臓器移植、小児心臓外科、幹細胞移植などの高度先進医療の推進、遺伝子細胞治療などの先端的治疗の開発と日常臨床への応用に努めております。

がん医療に関して岡山県がん診療連携拠点病院として、県内のがん診療連携拠点病院と協力して、先進的な医療を創造し、実践し、次世代を担う優れた医療人の育成も教育機関である本院の役割と捉え、患者様の尊厳を守り、畏敬の気持ちで接し、質の高い医療を提供できるがん医療人を育てるよう努めております。

「高度な医療をやさしく提供し、優れた医療人を育てる。」を理念に、

- ◆人間性豊かな医療環境の実現
- ◆高度先進医療の提供・開発
- ◆効率的医療の提供

を基本方針に、日々の診療、教育、研究に邁進しております。

現在、岡山大学にいるがん専門医療人は以下のとおりです。

がん専門薬剤師	2名
がん化学療法認定看護師	1名
医学物理士	1名
がん薬物療法専門医	2名
臨床腫瘍学会暫定指導医	7名
放射線治療専門医	1名

この度の、中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアムにおきましては、多職種の優れた、地域に貢献するがん専門職を養成すべく、大学院とともに他のコンソーシアム・メンバーと協力して、実習、FD研修を行ってまいります。



がん診療連携拠点病院 津山中央病院



病院長 徳田 直彦

津山中央病院は、岡山県北部32万人の癌、救急医療をはじめとする急性期医療を担う病床数525床の総合病院です。2005年1月には地域がん診療連携拠点病院に指定され、2007年には院内がん登録による悪性新生物新規登録患者数は年間1230人に達しました。この地域においてがん診療を含めた急性期疾患の全国レベルの医療を提供すべく、スタッフの充実とともに先進医療器械の整備をはかり、その一環としてPET/CT、MD・CT(64列および16列)、MRI(1.5テスラー2台)、心血管造影(シーメンス製)、リニアック(放射線治療装置)、デジタルマンモグラフィー(2台)、マンモトーム等、多数の機器を整備し、最新のより質の高いがん医療提供をめざしています。

なかでも年間1万例にせまる内視鏡センターの充実は高い評価を得ており、とりわけ早期胃癌及び早期大腸癌に対する内視鏡的粘膜下層切除術(ESD)はそれぞれ年間93件、16件(2006年)と着実に実績を積んでいます。また導入後9年目を迎えた電子カルテも、操作性にすぐれ全国的に高く評価されて

おります。さらに地域の中核病院としての大きな使命である地域連携、情報交流、若い医療人の研修と教育についても、『かかりつけ医』の推奨、臨床研修医の養成(平成19年度は11名)をはじめ着実に成果を上げております。

この度、中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアムに参加させていただくことで、がん診療連携拠点病院間での情報交換がより円滑活発になり、また多くのがんプロ養成研修会、セミナー開催により、緩和医療、放射線医療ならびに化学療法専門スタッフの育成が加速されることを期待しております。

当院はコンソーシアムの一員として、今後も引き続きがん診療連携拠点病院の責務である岡山県北部地域のがん診療の均てん化に向けて、院内におけるがんチーム医療がより高度なレベルで実施されるよう、より一層努力していきたいと考えております。



タイトル	中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム 平成19年度 緩和医療に関する集中セミナー in KAGAWA																						
参加人数	240名+講師6名																						
概要と評価	<p>・概要 インテンシブコース:緩和専門医を目指す医師 アップデートインテンシブコース:緩和に興味のある医療者が対象</p> <p>【講義内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>・がんプロコンソーシアム</td> <td>岡山大学大学院医歯薬学総合研究科長</td> <td>田中 紀章</td> </tr> <tr> <td>・緩和医療総論</td> <td>岡山大学大学院医歯薬学総合研究科長</td> <td>田中 紀章</td> </tr> <tr> <td>・薬物以外の疼痛管理</td> <td>香川大学麻酔・救急医学講師</td> <td>野菅 純子</td> </tr> <tr> <td>・緩和ケア看護師の視点から</td> <td>高知女子大学看護学部教授</td> <td>藤田 佐和</td> </tr> <tr> <td>・乳がんの標準化学療法</td> <td>徳島大学大学院病態制御外科学教授</td> <td>丹黒 章</td> </tr> <tr> <td>・精神腫瘍学総論</td> <td>香川大学精神神経医学准教授</td> <td>新野 秀人</td> </tr> <tr> <td>・消化管閉塞への対応</td> <td>香川大学腫瘍センター長</td> <td>合田 文則</td> </tr> </table> <p>・主催者評価 中国四国各県からの参加者が240名ありコンソーシアムへの期待の大きさを感じた 講義内容はバランスの取れた内容であった 大きなトラブルもなく時間通りに終了できた アクセスと会場については今後検討の余地がある</p> <p>・参加者評価 講義内容はわかりやすく非常にためになったと概ね好評であった 会場設備、アクセス、案内方法の改善の意見があった</p>		・がんプロコンソーシアム	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科長	田中 紀章	・緩和医療総論	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科長	田中 紀章	・薬物以外の疼痛管理	香川大学麻酔・救急医学講師	野菅 純子	・緩和ケア看護師の視点から	高知女子大学看護学部教授	藤田 佐和	・乳がんの標準化学療法	徳島大学大学院病態制御外科学教授	丹黒 章	・精神腫瘍学総論	香川大学精神神経医学准教授	新野 秀人	・消化管閉塞への対応	香川大学腫瘍センター長	合田 文則
・がんプロコンソーシアム	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科長	田中 紀章																					
・緩和医療総論	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科長	田中 紀章																					
・薬物以外の疼痛管理	香川大学麻酔・救急医学講師	野菅 純子																					
・緩和ケア看護師の視点から	高知女子大学看護学部教授	藤田 佐和																					
・乳がんの標準化学療法	徳島大学大学院病態制御外科学教授	丹黒 章																					
・精神腫瘍学総論	香川大学精神神経医学准教授	新野 秀人																					
・消化管閉塞への対応	香川大学腫瘍センター長	合田 文則																					
今後のインテンシブ関係者へのアドバイス	会場はアクセスのよい駅近辺が良い(トイレが十分あるところ、空調のよいところ) 1コマの講義を長くしても 質疑応答の時間が必要 会場案内やセミナーの案内方法にも工夫が必要																						
参加者内訳	医師 67名	看護師 138名																					
	薬剤師 26名	放射線技師 0名																					
	栄養士 5名	事務 1名																					
	理学療法士 1名	MSW 1名																					
	臨床心理士 1名																						

四国新聞 2007年(平成19年)12月16日(日曜日)

社 会 (20)

がん専門職を広域養成

中・四国8大学院が連携

大田 川中 香集



職種を超え、緩和医療に関する知識を学んだ中・四国がんプロ養成コンソーシアムのセミナー—香川大医学部

香川大など中・四国の八つの大学院が連携し、広域でがん医療を担う専門職を養成する「中国・四国広域がんプロフェッショナル養成コンソーシアム(連合)」による初めての集中セミナーが十五日、三木町の香川大医学部で開かれた。県内外から医師や看護師ら約二百五十人が参加、緩和医療をめぐる最新情報や課題などに理解を深めた。

同コンソーシアムは、めぐるがんの治療に関し、日本人の死因の一位を占めるがんのニーズに応える医療人を地域の大学から送り出して、いこうと、文部科学省の補助を受けて九月に設立。参加するのは香川、岡山、徳島、高知、高知女子、愛媛、山口、川崎の各大学院で、得意の分野を生かしながら広域で人材育成を目指す。

各大学院は、がん医療にかかわる共通カリキュラムを設けるほか、八つ療人を地域の大学から送り出して、いこうと、文部科学省の補助を受けて九月に設立。参加するのは香川、岡山、徳島、高知、高知女子、愛媛、山口、川崎の各大学院で、得意の分野を生かしながら広域で人材育成を目指す。

この日の集中セミナーは専門医ら、がん医療に携わるすべての職種を対象とした研修の一環で、同コンソーシアムが初めて企画。緩和医療をテーマに薬物以外の疼痛とら見た緩和ケアなどが報告された。

活発な意見と熱気のうちに終了しました!



のコースを設け専門職を養成。来年四月から各大学院で計約七十人の学生を受け入れる。

香川大は、がん薬物療法専門医、緩和療法医、腫瘍外科医の三コースで計十二人を養成。同大医学部付属病院の合田文則腫瘍センター長が中心となり、緩和療法医コースのカリキュラムを作成するなど、同コンソーシアムで中心的役割を担う。

各種委員会

委員会等

各委員会等は、中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアムの円滑な事業運営を行うため、各担当の業務について、企画・立案及び実行業務を行う。

運営委員会

各担当業務の企画・立案及び事業遂行等を円滑に行うため、次の各号に定める者による運営委員会を設置する。協議会議長、カリキュラム企画運営委員会委員長、総合評価委員会委員長、連携病院長会議委員長、臨床治験推進委員会委員長、広報委員会委員長、および委員長が必要と認めた者から構成。

カリキュラム企画運営委員会

カリキュラムを企画し運営する、その下部組織たるWG、がん薬物療法専門医コースWG、放射線治療医コースWG、緩和療法医コースWG、腫瘍外科医コースWG、がん専門薬剤師コースWG、がん専門看護師コースWG、医学物理士コースWG、がん専門栄養士コースWGからなる。各WGは専門職医療人の養成コースを持つ正会員から推薦されたWG委員で構成される。各WGにはリーダーを置く。

総合評価委員会

中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアムの事業を評価するために総合評価委員会を置く。総合評価委員会は内部評価委員会、外部評価委員会から構成される。

連携病院長会議

連携病院長会議は中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアムの診療連携拠点病院の代表者からなる。

臨床治験委員会

中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアムで臨床試験を行う目的で臨床治験委員会を置く。

広報委員会

中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアムの事業の広報を行う。委員は協議会議長が指名し、その中から委員長を協議会議長が任命する。ルーチンのコミュニケーション業務を下記のように行い、責任者は広報副委員長の猶本(岡山大学)です。

用語集

Ad Hoc	特別の 臨時の 例:アドホックWG
WG(Working Group)	作業部会(少人数を選抜し目的遂行のための作業をする) 各WGにはリーダー&サブリーダーをおくことができる
FD(Faculty Development)	指導者育成(指導者を育成すること、そのための教育)
コンソーシアム	consort : 調和 同僚、仲間、僚艦 配偶者 consortium : 国際借款団 国際協会 中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム: がんプロ養成の目的達成のために協力し活動を実行する団体
ポートフォリオ	portfolio : 紙ばさみ 書類 株券一覧 中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアムでは、学生の業績、研修内容、成長の過程がわかるように管理する方法
カリキュラム	学習内容の系列 教育課程
シラバス	授業の概要、要目(講義担当、時間、内容、教科書、獲得目標などについて具体的に記述してある)
座学	実習以外の講義形式の授業

中国・四国広域がんプロ養成プログラム インテンシブ生涯教育コース 合同講演会
川崎医科大学附属病院がんセンター 第2回Cancer Seminar

テーマ
「がんの放射線診断・治療の最前線」

受講無料

日時：平成20年1月19日(土)
13:30~16:00

場所：川崎医科大学現代医学教育博物館
2階大講堂
岡山県倉敷市松島577



●平成19年度大学改革推進等補助金
「がんプロフェッショナル養成プラン」補助事業
プログラム名：中国・四国広域がんプロ養成プログラム
参加大学：岡山大学（補助事業大学）
愛媛大学、香川大学、高知大学、高知女子大学、徳島大学

対象は医師・看護師・薬剤師・コ・メディカルの方です。
参加希望者はFAXで右記まで連絡をお願いします。

定員：先着300名

※お車でお越しの方は、職員・学生用駐車場をご利用ください。
お帰りの際にサービス券をお渡しします。

プログラム

司会：今城吉成
(川崎医科大学 放射線医学(治療) 教授)

教育講演1「腫瘍関連中枢神経病変の画像診断」
講師：古川又一先生
(山口大学医学部附属病院 放射線科医員)

教育講演2「PET/CT検査による悪性腫瘍の診断」
講師：大塚信昭先生
(広島平和クリニック
がんドック先端医療健診センター センター長)

教育講演3「最近の放射線治療の動向」
講師：余田栄作
(川崎医科大学 放射線医学(治療) 講師)

第1回がん栄養療法研究会のご案内

拝啓

初秋の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。この度、下記の日程にて「がん栄養療法研究会」を開催致します。お忙しい中、恐縮ではございますが何卒ご出席の程宜しくお願い致します。

敬 具

日時：2008年1月26日(土) 14:00~

場所：岡山ブラザホテル 5階 延義の間
岡山市浜2-3-12 TEL:086-272-1201
参加費：1000円

プログラム

開会の御挨拶
岡山大学大学院 消化器・腫瘍外科学 教授 田中 紀章 先生

【情報提供】 14:05~14:25
「がんと栄養管理に関する最近の話題」

(株)大塚製薬工場 学術部 青井 昭三

【基調報告】 14:25~14:45
座長：岡山大学大学院 消化器・腫瘍外科学 教授 田中 紀章 先生
「癌領域における栄養に関する検討の現状と課題」
徳島大学大学院 代謝栄養学 教授 中屋 豊 先生

【特別講演Ⅰ】 14:45~15:45
座長：徳島大学大学院 病態制御外科学 教授 丹黒 章 先生
「癌患者の栄養管理 その必要性と適応」
癌研有明病院 消化器センター外科医長 比企 直樹 先生

~~~~~ Coffee Break ~~~~~

【特別講演Ⅱ】 16:00~17:00  
座長：山口大学大学院医 消化器・腫瘍外科学 教授 岡 正明 先生  
「食欲調節ペプチドから見た癌性悪液質の病態と治療」  
—グレリンに注目して—  
鹿児島大学大学院歯学総合研究科 社会・行動医学講座  
教授 乾 明夫 先生

閉会の御挨拶  
岡山大学大学院 消化器・腫瘍外科学 教授 田中 紀章 先生  
会終了後、意見交換の場を設けさせていただきます。

がん栄養療法研究会  
共催：中国・四国広域がんプロ養成プログラム  
(株)大塚製薬工場

## 中国・四国広域がんプロ養成プログラム 医学物理士コースセミナー

### 放射線治療に関する認定資格 —その業務と資格取得条件—

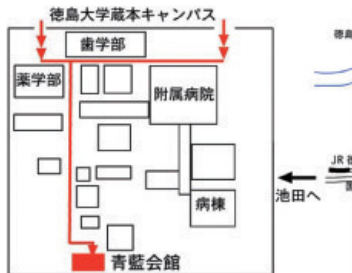
下記の日程で「医学物理士コースセミナー」を開催いたします。多数のご参加をお待ちしています。

開催日時：平成20年2月9日（土） 13:00～17:00  
開催場所：徳島大学蔵本キャンパス内 青藍会館  
徳島県徳島市蔵本町3丁目18番地の15 TEL：088-633-7109  
参加費：無料

#### プログラム

13:00-13:10 開会の挨拶  
13:10-14:10 講演1 放射線治療専門技師について  
木村千明先生 (NPOマンモグラフィ検査精度管理中央委員会)  
14:10-15:10 講演2 放射線治療品質管理士について  
新保宗史先生 (埼玉医科大学)  
15:10-15:20 休憩  
15:20-16:20 講演3 医学物理士について  
丸橋晃先生 (京都大学原子炉研究所)  
16:20-17:00 総合討論

鳴門・淡路島



JR徳島駅から徳島大学蔵本キャンパスへの交通アクセス  
・JR徳島本線で約5分、JR蔵本駅下車 徒歩5分  
・バスで約15分、蔵本中央病院大学病院前下車 徒歩

主催：中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム  
医学物理士養成コースWG委員会 代表：上  
連絡先：徳島大学医学部 保健科学教育部 医務情報

## 中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム intensive course がん医療におけるコミュニケーション・スキル講習会

日時：2008年2月16日（土）10時～12時  
場所：未定（徳島大学病院内か徳島駅前の会場）

講演：10:00～12:00（定員なし 事前申し込み不要）

### 悪い知らせをどう伝えるか？

講師 内富庸介先生 日本サイコオンコロジー学会 代表世話人  
国立がんセンター東病院 臨床開発センター精神腫瘍学開発部

内富先生を中心に日本人の特性を研究調査した結果から、日本人向けのBad News Tellingの手法SHARE protocolを開発され、今年度から厚生労働省の委託事業として医療研修推進財団主催「がん医療に携わる医師に対するコミュニケーション技術研修会」が全国で開催されています。この「コミュニケーション技術研修会」のエッセンスを講演していただきます。

#### 実技演習 2月16日 13:00～17:30 + 17日 9:00～13:00

8時間の講習（会場未定） 定員8名（事前申し込み必要）  
ファシリテーター研修等の当日の見学は少数可能です。（事前申し込み必要）  
末期がんを演じる模擬患者さんを相手に病状説明を行い、feedbackを受けて、説明の仕方を修正してゆく練習を繰り返します。  
修了者には、日本サイコオンコロジー学会の修了証が発行されます。

主催 中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム  
徳島大学がん診療連携センター  
徳島県がん診療連携協議会

後援 徳島緩和ケア研究会、徳島県医師会、徳島県看護協会 予定

【事務局連絡先】中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム  
徳島大学医学部学務課（担当：岩森）

電話：088-633-9431 FAX：088-633-9431 E-mail：isygakumudgic@jim.tokushima-u.ac.jp  
徳島大学 大学院ヘルスバイオサイエンス研究部  
「がんプロ/緩和医療」担当：医療教育開発センター 寺嶋吉保



## 中国・四国広域がんプロ養成 コンソーシアムインテンシブコース

### チーム医療セミナー

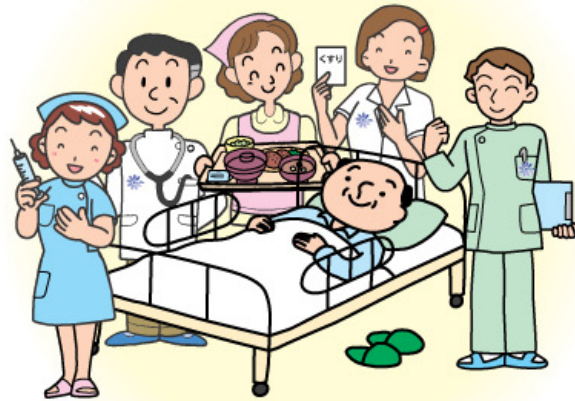
多専門職協働によるチーム医療実践のための学習を行います。

### プロジェクトマネジメント手法習得セミナー

チーム医療実践と医療の質改善、業務改善、臨床試験等の  
プロジェクト成功のためのマネジメント手法を学習します。

日時／平成20年3月23日(日)

会場／岡山コンベンションセンター 2階 レセプションホール



施設名 岡山大学  
担当者 松岡順治 猶本良夫  
連絡先 TEL:086-235-7257

参加可能人数  
140名

## 中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム Vol.1

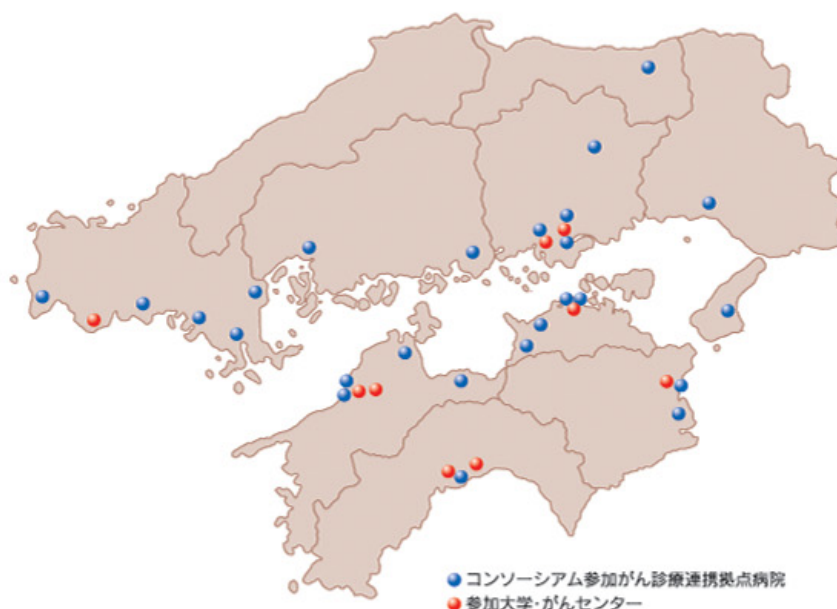
平成20年1月10日 発行

編集兼発行者

中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム事務局  
TEL 086-235-7023

印刷所

有限会社 ファーストプラン



### 愛媛大学

愛媛大学大学院医学系研究科  
学務室大学院チーム  
TEL(089)960-5868

### 岡山大学

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等  
学務課大学院係  
TEL(086)235-7986

### 香川大学

香川大学医学部学務室  
(入試担当)  
TEL(087)891-2074

### 川崎医科大学

川崎医科大学学務課  
教務係  
TEL(086)464-1012

### 高知女子大学

高知女子大学学生課  
大学院担当  
TEL(088)873-2157

### 高知大学

高知大学医学部学生・研究支援課  
大学院教育担当  
TEL(088)880-2263

### 徳島大学

徳島大学医学・歯学・薬学部等  
事務部学務課大学院係  
TEL(088)633-9649

### 山口大学

山口大学医学部学務課  
教務第三係  
TEL(0836)22-2058

### 四国がんセンター

TEL(089)999-1111

<http://www.chushiganpro.jp/>